▼低分子デキストラン糖注　［注］

【重要度】★★　【一般製剤名】ブドウ糖加デキストラン 40　Dextran40/Glucose　【分類】血流改善剤
【単位】▼500mL［デキストラン 10%，ブドウ糖 5%］
【常用量】1 回 500mL［最初の 24 時間の投与量は 20mL/kg 以下］
【用法】点滴静注■長期連用を避けること（できるだけ短期間にとどめ、5 日以内とする；長期連用すると腎臓、肝臓、脾臓に蓄積し、乏尿などをきたすことがある）
【透析患者への投与方法】250mL を週 2 回まで（0.075～0.125g/kg）（Klin Wshr 53: 523-7, 1975）
【その他の報告】凝固系を抑制して出血傾向を促進するおそれがあることに留意し，長期連用を避けること（できるだけ短期間にとどめ、5 日以内とする）（1）週 3 回 4 年間使用して多臓器にデキストランの沈着を認めた HD 患者の 1 例（滝 知彦，他: 透析会誌 44: S395, 2011）
【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要はないが腎障害が悪化する恐れがあるため慎重投与（1）
【特徴】デキストラン 40 を 50g とブドウ糖 25g を加えた注射液．赤血球凝集を解離し，血液粘度を低下させ，末梢循環を改善し，血栓を予防する．血漿増量剤として末梢血行を改善する．線溶系を活性化させ，血栓予防，溶解作用を示す．
【主な副作用･毒性】ショック，急性腎不全，過敏症，出血傾向，悪心，嘔吐など
【Cmax】250mL 投与時の血中デキストラン 40 濃度の Cmax は 312.3mg/dL［24hr 後に 28.7mg/dL］（1）
【代謝】肝臓，脾臓，腎臓にデキストランを分解する酵素が存在（1）生体内に残存するデキストランは徐々にブドウ糖に分解される（1）
【排泄】尿中回収率 60%［3hr まで］，77%［24hr まで］（1）
【CL】資料なし（1）
【t1/2】約 3hr（1）
【蛋白結合率】資料なし（1）
【Vd】資料なし（1）
【MW】平均 40000
【透析性】分子量が大きいため透析で除去されない（Klin. Wshr 53: 523-527, 1975）資料なし（1）
【備考】投与期間は 5 日以内とする．アミノ配糖体系抗生物質の併用は不可［腎毒性の増強］．保存中の温度変化による局部的濃縮のため、まれに不溶性デキストランを析出することがある（使用不可）．血液型判定又は交叉試験を妨害することがある．
【更新日】20250512

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。